

# 文部科学省CBTシステム(MEXCBT : メクビット) の進捗について

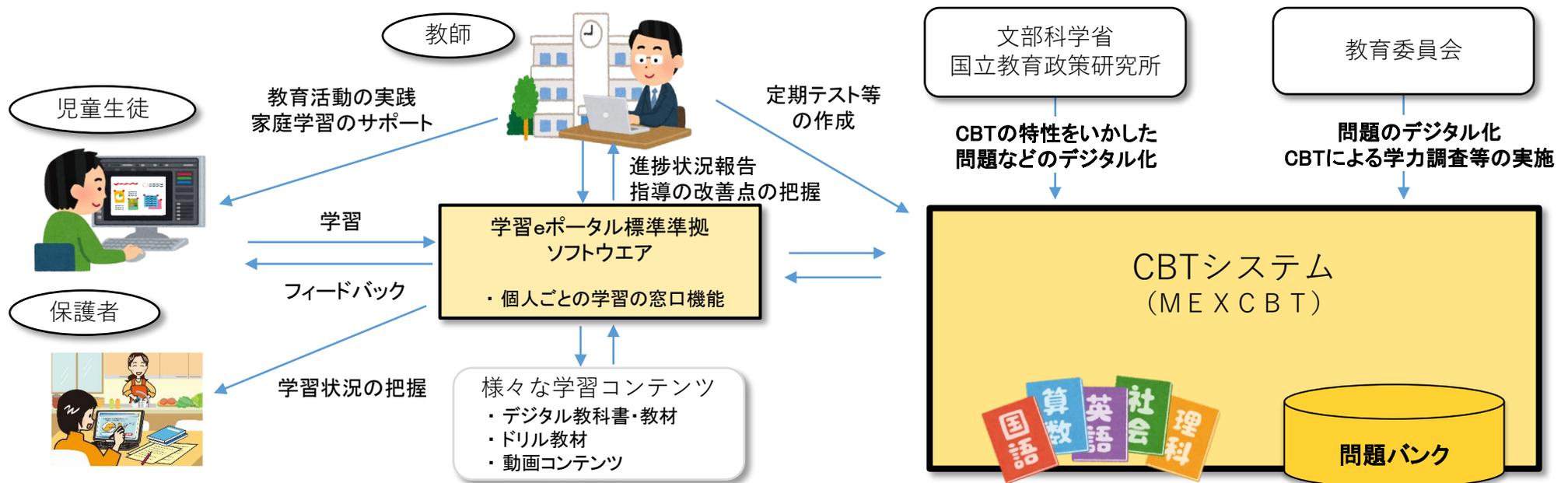
文部科学省 総合教育政策局 教育DX推進室



# 文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）について

- 小・中・高等学校等の子供の学びの保障の観点から、**児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム**
- **文部科学省が開発**（事業者連合体のコンソーシアムに委託）
- 国や地方自治体等の**公的機関等が作成した問題を活用可能**
- 「GIGAスクール構想」により実現する「**1人1台端末**」を活用した「**デジタルならではの学び**」を実現

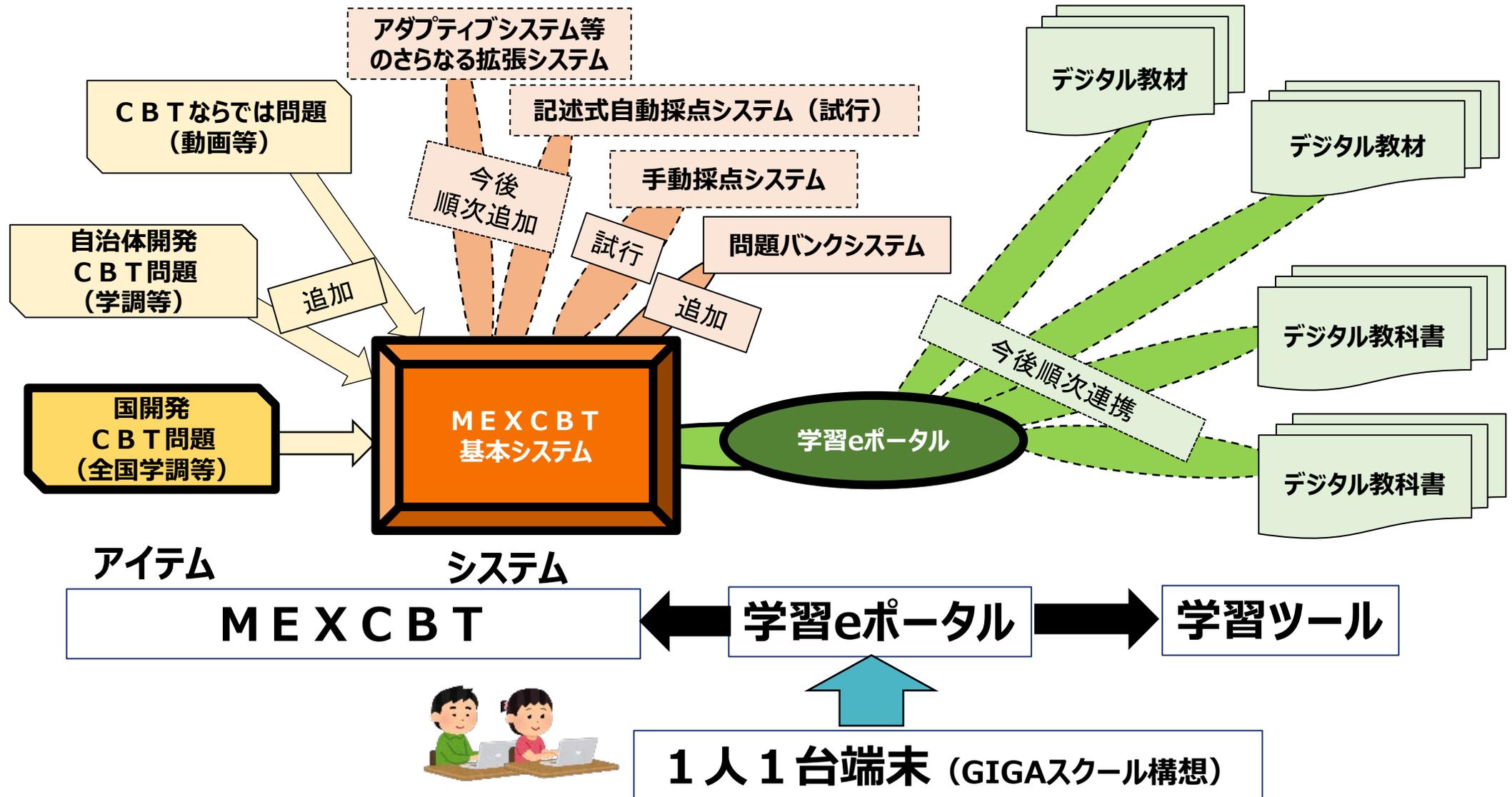
MEXT + CBT  
文部科学省 Computer Based Testing



※ CBT : Computer Based Testing

# MEXCBTの基本的な考え方

- 公的なC B Tプラットフォームとして、デジタル学習の基盤的な仕組み
- 利活用者、事業者を超えて相互に利活用が可能な汎用的な仕組み  
(国際標準規格等の汎用的な仕組みの導入)  
→ 問題・データや知見等の相互利活用 (教育D X)



# MEXCBTの概要と活用の流れ

## システム概要

### 【総論】

- 児童生徒が学習端末を用いてオンラインで問題演習等ができるシステム(問題やデータの相互運用が可能な国際標準規格に基づく汎用的なシステム)を開発

### 【活用方法】

- 通常活用している学習端末を用いて、家庭からでも学校からでもアクセスが可能
- 2通りの活用方法が可能

#### ①一問一答形式

学年・教科を選び、一問一答形式で解答後に解説等が表示され学習する方式

#### ②複数問題解答形式

学年等を選び、何問かの束で解答する方式



- 選択式問題や一部短答式問題は自動採点

### 【具体的な問題】

- 国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用  
(例)全国学力・学習状況調査問題、  
高等学校卒業程度認定試験問題、  
自治体独自の学力調査問題、  
動画等を活用した「CBTならではの」問題など

## 活用の流れ

### ①問題を選ぶ

学習 e ポータル標準準拠ソフトウェア

教員



### ②問題を解いて学習する

MEXCBT

児童生徒



### ③結果を確認する

#### クラス内の学習結果を確認

#### 自分の学習結果を確認

学習 e ポータル標準準拠ソフトウェア

# MEXCBTの機能と搭載コンテンツ

## 機能

- 選択式や短答式問題は自動採点が可能
- 問題の検索・配信を容易に実施できる
- 見やすいテスト実施画面
- 教員による問題作成も可能
- 記述式問題に対する教員の手動採点も試行

(問題検索・配信画面)

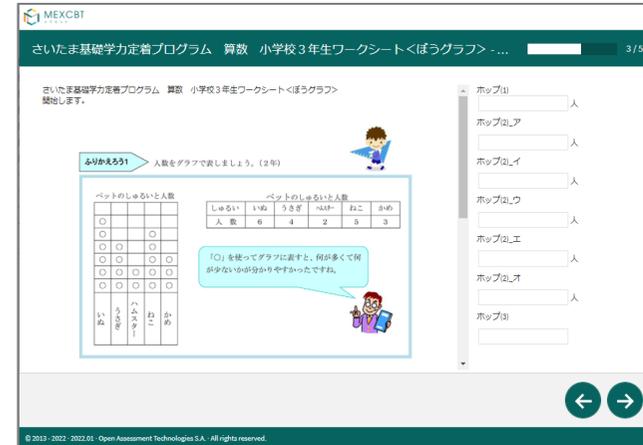


(テスト実施画面)



## 搭載コンテンツ

- 国や自治体等の公的機関等が作成した問題約25,000問を搭載



さいたま市作成「基礎学力定着プログラム」

### 名称

|                                     |
|-------------------------------------|
| 全国学力・学習状況調査                         |
| 中学校卒業程度認定試験                         |
| 高等学校卒業程度認定試験                        |
| 全国学力・学習状況調査を題材とした動画問題               |
| PISA (国際学力調査) の公開問題 (2015、2018)     |
| 情報モラル学習問題                           |
| 千葉県作成「ちばっ子チャレンジ100」「ちばのやる気学習ガイド」    |
| 山口県作成「やまぐち学習支援プログラム」                |
| さいたま市作成「基礎学力定着プログラム」                |
| 岩手県作成「岩手県学習定着度状況調査」「岩手県中学1年生英語確認調査」 |
| 幸手市作成「パワーアップシート」「確認テスト」             |
| 実用英語技能検定                            |
| 実用数学技能検定                            |
| テスト作成サイトで教員等が作成した独自問題               |

※令和4年度も機能の改善やコンテンツの追加は順次実施

# MEXCBTの活用の状況

## 活用の様子

授業での  
活用



小田原市立片浦小学校HPより抜粋

朝学習での  
活用



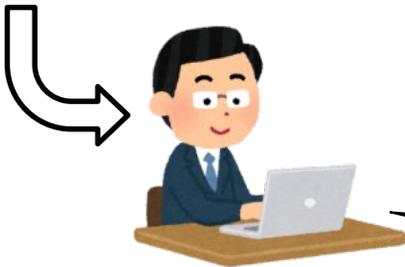
梶原町立梶原学園HPより抜粋

学習の様子



柏市立豊小学校HPより抜粋

## MEXCBTを活用した現場からの声（一部抜粋）



MEXCBTは、授業中や放課後に活用したり、家庭学習（宿題）の際に活用したりした。臨時休校中にもこのシステムを活用して家庭学習を行った。

児童生徒は問題を解けば正答率が出て達成度が分かるため、楽しみながら取り組んでいた。今後も利用したい。

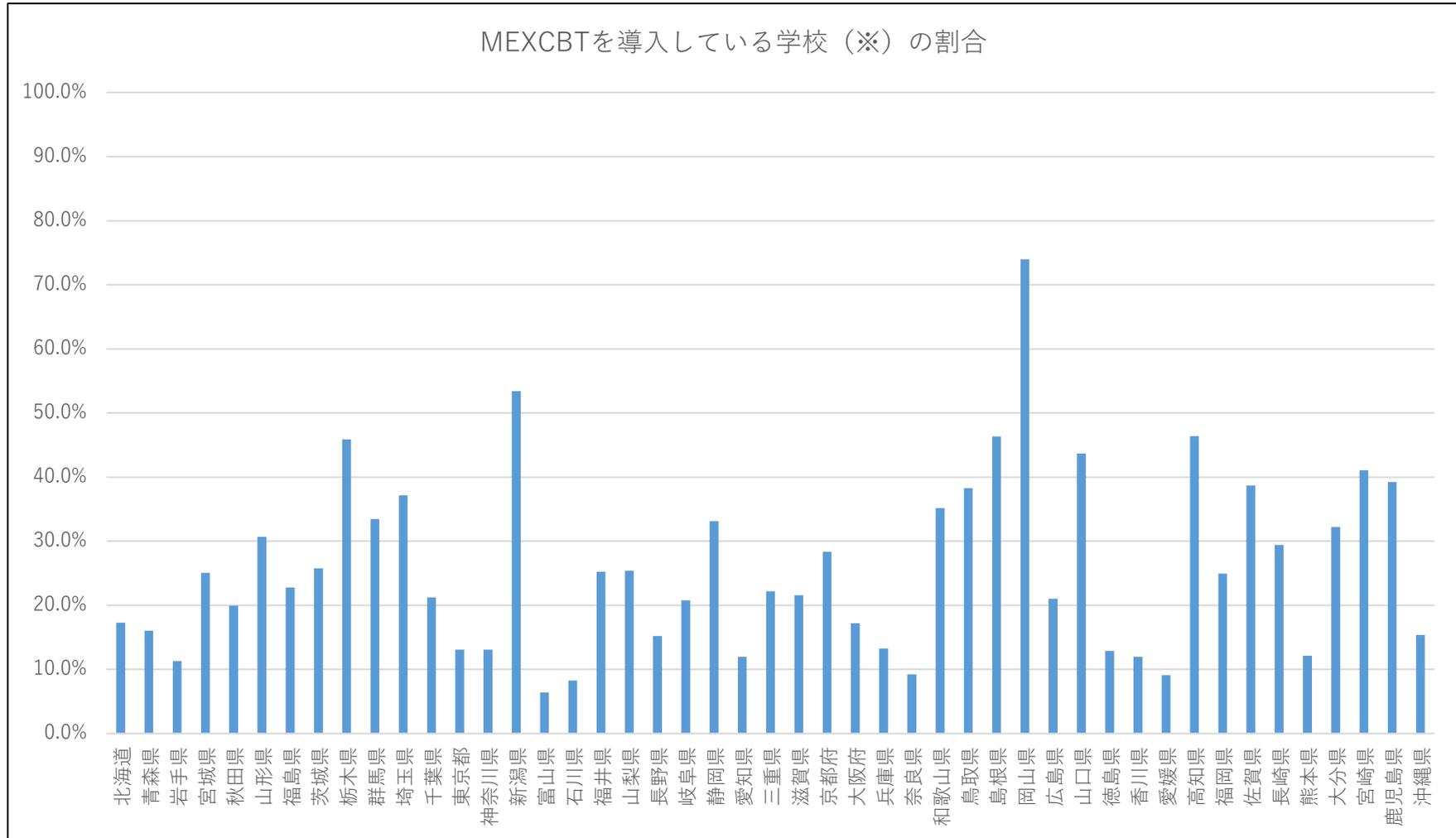
教員は配信するだけでテストを利用してきて自動採点されるため、印刷や採点の手間が省け、業務効率が向上した。

子どもたちは学習端末を使用した学習にとまどいなく取り組んでおり、私たち大人の想像を超えたスピードだと感じる。

⇒令和4年度、MEXCBTの活用事例等について、運用支援サイトや各種メルマガ等を通して情報発信

# MEXCBTの活用の状況（令和3年度）

- 令和3年12月から希望する全国の小・中・高等学校等での活用をスタート
- 現在、約900の学校設置者、約8500校、約300万人が登録



※国立・公立・私立学校を合計

# 学習eポータル概要

## ◎日本の初等中等教育(学校教育)に適した共通で必要な学習管理機能を備えたソフトウェアシステム

### ①学習の窓口機能

多様な学習リソース(デジタル教科書・教材, 各種ツールなど)の互換性のあるデータを学習eポータルで一覧的に可視化して活用することができる機能(個別最適な学び・協働的な学びへとつながる)

### ②連携のハブ機能

シングルサインオン等のアクセスの容易化など、学習リソースの利活用の連携のハブとして機能

(活用者が便利になるとともに、デジタル教材等事業者が個々のソフトごとに連携する手間が省けて不要なコストがかからなくなる。)

### ③文科省システム(MEXCBT)のアクセス機能

文科省が運用する公的CBTプラットフォーム(MEXCBT)へアクセスする機能

機能の  
考え方

協調領域

ツール間の相互互換性を担保するため、国際標準規格などの汎用的な定義を行い、各ツールとも実装

・学習ツール連携機能  
・スタディログ受け取り機能

競争領域

協調領域以外の部分は、各社が創意工夫を行い独自に機能を実装

・ダッシュボード機能  
・時間割・スケジュール機能 等

◎文部科学省教育データ標準において、「教育データの相互運用性を確保するための技術的標準」を位置づけ([https://www.mext.go.jp/content/20220304-mxt\\_syoto01-000010374\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220304-mxt_syoto01-000010374_1.pdf))。

◎ICT CONNECT21において、事業者、研究者により、学習eポータルの標準モデルや技術規格などを検討し、「学習eポータル標準モデル」を2021年3月に公表。2022年3月に改定し、「学習eポータル標準モデル version2.00」を公表。  
(<https://ictconnect21.jp/document/eportal/#standard>)。これらを踏まえ、各社が学習eポータル標準に則った機能を実装。

◎2020年度及び2021年度前期の文部科学省CBTシステム(MEXCBT)のプロトタイプ開発において、窓口機能として学習eポータルを導入(試行)。2021年度12月からは、以下4社の学習eポータル標準準拠ソフトとMEXCBTが連携。

◎学習eポータル標準準拠ソフトは、2022年3月現在時点では次の4つですが、今後さらに増えていくことが見込まれます。

- L-Gate(株式会社内田洋行)
- Open Platform for Education(OPE)(日本電気株式会社)
- まなびポケット(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)
- Studyplus for School(スタディプラス株式会社)

※なお、MEXCBTを活用する際には、オンライン学習システム推進コンソーシアムが提供する学習eポータルを活用することも可能です。

## MEXCBTの全体スケジュール

- 令和2年度からプロトタイプ（試行版）を開発
- 公的なC B Tプラットフォームとして、徐々にコンテンツや機能を拡充
- MEXCBT(機能拡充版)については、12月頭から、全国の希望する小中高校等での活用を順次開始
- 令和3年度は、約8500校、約300万人が登録。
- 令和4年度は、利用申込を通年受付。

R2、R3前期  
(プロトタイプ)

- 全国数百校で実証
- 2,000問搭載  
(全国学調等)

R3後期  
(機能拡充版)

- 希望する全国の学校で活用
- 約2万5千問搭載  
(全国学調+地方学調  
+ C B Tならではの問題等)

R4～

- 希望する全国の学校で活用
- さらに問題等を追加
- 全国学調C B T 試行調査や  
地方自治体の学力調査等で活用